

退任あいさつ

(前)小野町副町長

松崎 浩 司



町民の皆様、大変お世話になりました。この度、県に復帰することとなり、3月31日付けをもって、副町長を退任いたしました。

平成17年7月から2年9ヶ月に亘り、町民の皆様には、様々な場面でご指導をいただきまして、まことにありがとうございました。

穴戸町政船出という町の重要な時期に、助役及び副町長という重責を担うことができたことは、私にとって非常に光栄でかつ貴重な経験でありましたが、もとより若輩でもあり、町長を支え、町民の皆様の期待に応えられたか甚だ不安の残るところであり、不徳の致すところでありませう。

今、行政を取り巻く環境は、県・市町村を問わず、国の三位

代表監査委員 齋藤忠氏退任



齋藤忠監査委員が任期満了により平成20年3月31日で退任されました。

齋藤氏には、昭和63年4月1日より20年間の永きにわたり、代表監査委員として、町の財務や経営の監査を通じて、公正で効率的な行政運営のため、ご指導ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今後とも町政進展のため、より一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。



サービスの向上を目指して 4月より役場の 組織が変わります

町では、町民サービスの向上を目指すとともに職員削減に対応するため、役場の組織機構を一部改編しました。

これまで産業振興課が所管していた商工業・観光業務を新設した企画商工課の所管とし、交流事業と商工観光事業の一体的推進を図ります。また、農林振興課を新設し、農林業・農地等整備の専門部署として農林業の振興を強化します。このほか、町の重点事業としている少子化対策を強力に推進するため、健康福祉課に健康・子育て支援担当を設け、総務課内に全庁的政策調整のため、政策調整室を設けました。

教育委員会内には、施設整備室を設け、教育施設の統廃合等の教育環境整備を強力に推進します。

この機構改編に合わせ、役場組織の在り方と役職についても見直しを行いました。これまでの班長を廃止し、副課長を設け、対外的に職員の役目を分かりやすくしました。

なお、各課の配置は下図のとおりです。

